

令和7年(2025年)11月21日(金曜日)

三島の新米で能登に元気を



新米の袋詰め作業に取り組む三島市立南中の生徒ら＝三島市のGW三島

地元NPO、中学生が準備

三島市のNPO法人グラウンドワーク（GW）三島は20日、交流を続ける能登半島の被災者を元気づけようと、市内の清流で育てたブランド米「ゆめみしま」を現地に届けるための袋詰め作業を行った。

GW三島はこれまで、被災者を招待して市内や富士山麓などを巡るツアーを開催してきた。今回は22、23の両日、スタッフや知徳高、三島北高の生徒ら19人が石川県能登町や珠洲市を訪問。地域住民と交流し、収穫したばかりの新米約70㌔を贈る。

事務所で行った新米の袋詰め作業には、職場体験で訪れている三島市立南中の生徒3人が協力した。2年の小川慧さんは「おいしく食べてもらえたらうれしい」と話した。